

要請番号 (JL05125B17)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|---------|----------|----------|------|----|------|------------------------------|
| バングラデシュ | G130 柔道 | 20～45歳のみ | 個別 | 新規 | 2年 | ・2026/1・2026/2・2026/3・2027/1 |



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

青年スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

柔道連盟

3) 任地 (ダッカ県南ダッカ市) JICA事務所の所在地 (ダッカ県北ダッカ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

柔道連盟は、国内の柔道普及および発展を目的に1972年に設立された組織。青年スポーツ省傘下の国家スポーツ評議会に登録されている。年間予算は約400万円。職員数5名。バングラデシュ国内の柔道人口は約1,000名と言われており、首都ダッカでは大学や警察・軍隊、民間施設等において柔道教室が開催されている。また、徐々にではあるが、地方でも柔道が普及しつつある。柔道連盟は、初心者を含む一般人の指導からナショナルチームの強化、国際大会への参加促進に至るまで、幅広い活動を担う。1980～2010年代にかけては、7名の協力隊が派遣されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

バングラデシュ国内における柔道は未だ発展途上の段階にあり、一般的にコーチや選手の知識・技術レベルは高いとはいえない。特に若手コーチは十分な指導経験を有しておらず、体系的な指導が実践できない状況にある。また、外国人コーチからの指導を受けた経験も少なく、国際レベルで活躍する選手の育成も期待どおりには進んでいない。柔道連盟は、コーチの能力底上げを図りつつ選手育成を強化し、南アジア大会等の国際大会で上位入賞を果たすとともに、国内の競技人口を拡大させたいと考えており、協力隊の派遣要請がなされた。協力隊には首都ダッカのみならず、地方への巡回指導も求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚と協力し、以下の活動を実施。

- 選手(ナショナルチーム含む)への直接的な指導およびトレーニング手法の紹介。
- コーチに対する指導法に関する助言。
- トレーニングマニュアルの開発および定着にかかる支援。
- 国内大会の企画・運営支援、国際大会参加にかかる各種調整および同行。
- その他、地方への巡回指導等、柔道の普及に関する活動。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

主に首都ダッカにある複数の練習場

4) 配属先同僚及び活動対象者

柔道連盟事務局長 女性 40代
柔道連盟関係者 5名
選手多数 男女 5～40歳
コーチ 男女10名 20～40代 (講道館2段保有者あり)

5) 活動使用言語

ベンガル語

6) 生活使用言語

ベンガル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]: (柔道三段)

[学歴]: () 備考:

[性別]: (男性) 備考: 配属先からの要望のため

[経験]: (競技経験) 5年以上 備考: ナショナルチームの指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (熱帯モンスーン気候) 気温: (15～40℃位) [電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

【特記事項】

【類似職種】

- ・相撲
- ・体育

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。